

寄稿

# 小田原の悲しき政治風土

おだわらを拓く力 加藤 憲一

とかく選挙では、相手陣営を不利に導く為の噂や偽りの情報が流されることがあります。私の知る優秀な若手元市長さんらも、そのような手段によって思わぬ大敗を喫し、地域の建て直しが志なからば途絶えてしまいました。政策の中身や政治姿勢、市民の願いとは無縁の次元で、地域の未来への可能性が閉ざされるのは、誠に残念なことです。



かとうけんいち - 1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長などを経て、現在有限会社あしがら編研代表。妻と子ども二人の4人家族。

小田原でも、そのような事態が起きかねません。私も属したことはなく、また政策協定なども行っていない。私の支援者は、党派的には自民党、民主党から共産党まで広く存在します。要は、政党に関係なく、「小田原を何とかしたい」「小田原を新しくしたい」と願う広汎な市民の皆さんが、私の支持層なのです。

もうひとつ、「加藤は極左であり過激派である」という話。これには哑然としました。私は京大時代、当時広がりを見せていた非核平和を目指す市民運動に数ヶ月間参加していました。60、70年代に学生運動華やかになりし頃の活動家も何人かいたようですが、私が取

り組んだのは平和を願う市民主体の署名運動で、「過激派」と言われるものでは全くありません。

いずれの情報も事実無根、特に後者は公職選挙法に抵触する可能性のある悪質なものです。そのような情報を流す方々がいるのは小田原の悲しき政治風土と言うほかありません。フェアで開かれた政策議論で、新しい小田原を目指しましょう。

**おだわらを拓く力**  
 加藤けんいち後援会代表／飯田 和  
 小田原市栄町2-13-1-2F  
 TEL 0465-21-5260  
 FAX 0465-21-5261  
 http://www.katoken.info  
 加藤憲一日記 更新中!